



鈴木将浩
自民党市議会
・無所属の会

デジタル化の 推進・課題について

問 手続のオンライン化の進捗状況は。

答 国が示す49手続のうち42手続で対応が完了している。

問 がまっと！と比べ、連携アプリのヘルスケアパスポートの登録者数が1割程度の約250件程度に留まっている。登録・利用促進をどう進めるか。

答 病院以外での登録支援を準備中である。また、見守り機能の活用等を検討している。

問 登録者の多いLINE公式アカウントを機能拡大し、利便性向上を図ってはどうか。

答 マイナンバー関連窓口の予約等を実施しており、施設予約の活用も研究をしている。

問 SNSの偽アカウントの被害防止対策の

ため公式マークの導入を検討してはどうか。

答 導入済のボートレース蒲郡以外のアカウントについても、付与の検討を進める。

問 教育現場での生成AIの活用や、児童生徒への教育の現状は。

答 教職員は規約に基づき生成AIを活用しており、児童生徒は現在利用を行っていない。

問 児童生徒でも生成AIの認知率・使用率が高まるなか、適切な指導や教育を進めるべきではないか。

答 生成AIへの理解や学びに生かす力を高める等、発達段階に応じた指導が今後必要であると考えている。



大須賀 林
自民党市議会
・無所属の会

大塚最終処分場の 跡地利用について

問 約2ヘクタールの跡地利用について市の考え方を伺う。

答 現時点で明確な廃止時期が見込めておらず、具体的計画に進める段階には至っていない。地域住民の意見を伺いながら、廃止後は速やかに跡地利用を開始できるように方法等を検討していく。

名鉄西尾蒲郡線のさらなる 存続に向けた取組について

問 三河湾健康マラソンを西尾市と共同開催することや、名鉄蒲郡線沿線走るコースの検討はできないのか。

答 マラソン大会を西尾市と共同開催することで予算や人員を分担できるため、単独開催と比較してハードルが低くなると考えるが、

開催に際しては、交通規制をはじめとした解決すべき課題がある。

マラソン大会は名鉄利用促進の幾つかある選択肢の一つだが、慎重に検討すべきである。

問 三河湾健康マラソンの形態を変え、新たな大会にすることで名鉄の存続に弾みがつく

と考えるが、どうか。

答 名鉄利用促進の観点で考えた際、各イベントを通じて継続的な利用へどのようにつながっていくかが重要と考えている。どのイベントに主体的に取り組み、また連携していくのかなどを含め、効果的なPR活動や利用促進施策を引き続き検討する。



名鉄西尾・蒲郡線



鈴木 貴晶
自由クラブ

災害時の通信手段 確保について

問 スターリンクの導入スケジュールを伺う。

答 導入すると、地上の通信インフラに依存せず衛星インターネットサービスが利用でき

るが、まずはデモ機による現地調査や実証実験を実施し、導入の可能性を確認していきたい。問題がない場合は、災害時のバックアップとして有効である。

録音機能付電話機の 導入について

問 ボートレース蒲郡と市民病院において録音機能付電話機を導入した経緯や効果について伺う。

答 ボートレース蒲郡は、平成31年3月から、営業妨害やクレーム対策、応対品質向上を目的に導入し、悪質な

迷惑電話は減少したと実感している。市民病院は、令和7年9月から、円滑な病院運営を目的に導入し、悪質な営業電話などは、自動的に着信拒否されるように設定し、職員が安心して働ける環境づくりにつながっている。

問 職員へのカスハラ対策として、本庁舎で導入すべきと考えるが市の考えは。

答 通話における職員の接遇の向上や職員への不正な圧力の排除につながるかと考え、導入の必要性を以前から認識している。速やかに課題を整理し、導入に向けた検討を進めていきたいと考える。

